



第 16 号

平成22年(2010年)2月25日(木)発行
発行元:みやけじま『風の家』
発行責任者:坂上 幸一郎
東京都三宅島三宅村阿古532-1
(社団法人 日本建築学会三宅島研修所併付)
電話:04994-5-1470 FAX:04994-5-1471
E-mail:miyake_kaze@dolphin.ocn.ne.jp

みやけじま『風の家』でくりかえされる日常の中、人と人との間に灯される「やさしさ」を切り取っています。
多くの人が“やさしく なかよく”つながっていることの大切さ。
ただそれだけを見つめて…

(*^*) みなさん、どうぞよろしくお願ひします

多くの方に育まれてきた『風の家』は、去る2月5日 金曜日に新しい活動をスタートさせていただきました。

この新しい出発に際して、本当に多くの方々にお集まりいただきました。これまで『風の家』を支えていただいた島の方々や、平野村長また佐藤副村長、三宅島社会福祉協議会 寺本会長、また保健所の方や村の保健師さん福祉事業所の方などにも足を運んでいただきました。

一方、『風の家』の運営に対して中核を担っていただいている東京災害ボランティアネットワーク、そして東京都生活協同組合連合会からもご参加いただきました。

こんなにもたくさんの方々に見守られる中、新しい出発をしました。



うれしい!立派な赤芽芋がとれたよ!!
ありがとう!!



おしるこ作りますヨ



噴火災害から10年。そして帰島から5年を迎えました。



また、平野村長からは復興の真ただ中にある中で、島が抱える様々な課題について懸命の取組がなされているお話をいただきました。また、高齢者の方々が抱える課題に対しても思いをめぐらされ、ホームヘルパー養成講座の開設実施が進められる中で、引続き島の大切な課題として取組んでいきたいとの声をいただき、『風の家』の活動へのご理解とエールをいただきました。

東京都生協連・竹内専務理事からは「これまでの歩みの中で東京のボランティアと島の方々との多くの交流が気づかれたこと、そして『風の家』の今後の活動に期待と引続き一緒に歩みましょう」という思いを込めたメッセージをいただきました。さらには『風の家』運営支援としての財政支援をお贈りいただきました。



たくさんのお出逢いに、改めて感謝でいっぱいです。

(^_^) みやけじま『風の家』 ご案内します

新しい活動を始めたくみやけじま『風の家』。引続き多くの方々と一緒に、ご理解またご協力をいただきながら活動を続けていきたいと思ひます。
そこで、あらためて『風の家』をご紹介します。

☆『風の家』って・・・？

～『風の家』は、広くいろいろな方々に自由に足を運んでいただける『家』です。
普通のくらしでは、なかなかお会いすることが無い方々が『風の家』で新しく出逢ひ、そこから良い交流が生まれています。



☆どんな人たちがいるの・・・？

～『風の家』には「運営協力員」として運営に携わる方々や、ボランティアとしてお手伝いいただく人たちがいます。そんな皆さんと『風の家』に来られる皆さんとが協力して、明るく楽しい一日を過ごすために活動したいと思ひます。

☆いつ開いてるの・・・？

～『風の家』の開設は、毎週火曜日と金曜日となります。

開設時間は午前9時から午後3時まで。

お昼ごはんをご持参いただければ、昼食をとっていただくこともできます。

また、「近くに來られた」と立寄って少しの時間を過ごす方も居られたり、ご利用の仕方はさまざまです。



(^o^) どうぞお気軽にお出で下さい



『風の家』では、「ボランティア」としてご一緒していただける方を、お待ちしております。

『風の家』での約束事は「やさしく」そして「仲良く」です。

目には決して見えないものですが、きっと人と人との良い出逢ひは、「くらし」の中でとても大切なものだから・・・

ぜひ、お気軽にお声かけください。

